

—いまだからもう一度考える—

生き抜くための排泄ケア

第一部 講演

東日本大震災でのトイレ事情

～水洗トイレは使えない、仮設トイレも来ない、そのとき？～

講師：日本トイレ研究所 所長

加藤篤さん

第二部 講演と対談

「在宅医療元年」の現状と課題

～そして排泄ケアはどうあるべきか～

講師：国立長寿医療研究センター総長 大島伸一さん

《対談 どうなる？「孤族の国」で始まる「在宅医療元年」

聴き手：朝日新聞デジタル部次長

高橋美佐子さん》

昨年の東日本大震災以後、私たちは改めて様々な課題に気付かされています。防災対策は勿論のこと、日常の衣食住、地域や職場での人と人との関わりのあり方、支援を必要としている方をどうサポートするのがいいのか？などなど...。今回の市民公開講座では「災害時の排泄」と「在宅医療」をキーワードとして、今一度、3・11以降の日本を考えてみたいと思います。

開催日時：2012年7月21日(土) 12時30分開演 (11時30分開場)

開催場所：名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟 3階 講堂

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65 TEL:052-744-2985 FAX:052-744-2319

参加費：¥1,000- (NPO愛知排泄ケア研究会会員の方も有料となります)

参加申込み方法：FAXあるいは、葉書で参加者氏名・ご職業・参加人数をお送り下さい

申し込み締切日：2012年7月17日(火)

